

テーマ 「Sustainable Development Goals(SDGs)を事例で学ぶ 観光ビジネスとゴミ問題について考える」

＜オンライン＞視察先：**フィリピン・セブ島**

2021年12月2日(木) 13時30分～15時10分

参加費 無料 / 定員 30名

本視察会では、SDGs(※)とビジネスとの関係を事例に則して理解し、持続可能な企業経営を考える契機とするため、フィリピン・セブ島の観光ビジネスとゴミ問題にフォーカスします。

フィリピンの観光業は2009年観光法成立により、観光業はフィリピンのGDPの12.7%を占め、労働者全体の13%に相当する540万人の労働者の雇用を生みました。2018年にフィリピンを訪れた海外からの観光客数は、過去最高の710万人を記録し、2009年の300万人から大幅に増加しています。日本からは2018年63万人がフィリピンを訪れています。

観光産業が急速な発展を遂げる一方で、フィリピンの有力な観光地の一つセブ島にはゴミ山が存在し、深刻な環境問題を引き起こしています。現地からの中継では、そのゴミ山からリアルタイム配信にて「なぜフィリピンにはゴミ山が存在しているのか」、「ゴミ山を無くしていくためにフィリピンが取り入れ始めた方法」、「なぜゴミ山周辺に必ずスラム街があるのか」など、SDGsに示された17のゴールの中でも「働きがいも経済成長も」、「住み続けられるまちづくりを」、「つくる責任つかう責任」を中心に解説します。

Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標 (SDGs)は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは日本、そして経済団体である日本経済団体連合会としても積極的に取り組んでおり、経済活動とSDGsは密接な関係となっています。

オンライン視察会【学びのポイント】

①10年余りで海外からの観光客を倍増させた観光地としての魅力に迫る

②観光産業の発展とゴミ問題について

③経済成長とゴミ問題、スラム街を持続可能な開発から考える

フィリピン(現地)からの中継、解説についてはその場で質疑応答に応じて頂きます。ぜひご参加下さい。

オンライン視察会 (WEB 視察会) ご参加方法：

本視察会はオンラインでの開催とさせていただきます。当日はエイチ・アイ・エスのご協力を得てスタッフが現地よりライブ配信させていただきます。当日は「Zoom」を用いて配信をさせて頂く予定です。リアルタイムでのご質問等が可能です。前日までにミーティングID等をメールにてご連絡致します。

スケジュール 13:30 フィリピンよりライブ配信開始

13:35 ①10年余りで海外からの観光客を倍増させた観光地としての魅力に迫る

○HIS セブ支店からのレポート

②観光産業の発展とゴミ問題について

○セブ島語学学校 CET-CEBUESL and TRAVEL INC 代表取締役 大坂俊介氏

15:00 質疑応答 15:10 終了予定

申込方法：以下の「申込書」に必要事項をご記入の上、11月25日(木)までにFAXもしくはE-mailにてお申込みをお願いします。大変恐縮ですが定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

オンライン視察会(12月2日)参加申込書(FAX 029-224-1109 E-mail gotou@ikk.or.jp)

一般社団法人茨城県経営者協会 後藤行き

会社名			
ご参加者①役職名		氏名	
E-mail ※視聴用のURLを送信させていただきます。		TEL	
ご参加者②役職名		氏名	
E-mail ※視聴用のURLを送信させていただきます。		TEL	